

# 参 考 明 細 書

工 事 名 令和6年度（過疎債）新下町浦北線舗装補修工事

施 行 箇 所 涌 谷 町 涌谷字新下町浦 地内

工 期 議会議決の翌日 ～ 令和7年2月28日

担 当 者 涌谷町建設課 建設班 大友  
E-mail: gr-kensetsu@town.wakuya.miyagi.jp

# 工 事 概 要

工 事 種 別	舗装補修工事		
施 工 概 要	施工延長 L=550m		
	切削オーバーレイ工		
	路面切削 切削深さt=5cm	A=	4,500 m <sup>2</sup>
	表層(再生密粒度As <sub>20F</sub> )t=5cm	A=	4,500 m <sup>2</sup>
	舗装打換え工(歩道)		
	舗装版破碎	A=	3,390 m <sup>2</sup>
	表層(再生細粒度As <sub>13F</sub> )t=3cm	A=	3,390 m <sup>2</sup>
	舗装打換え工(車道乗り入れ部)		
	舗装版破碎	A=	340 m <sup>2</sup>
	表層(再生密粒度As <sub>20F</sub> )t=5cm	A=	340 m <sup>2</sup>
	舗装打換え工(横断BOX段差部)		
	舗装版破碎(車道)	A=	400 m <sup>2</sup>
	表層(再生密粒度As <sub>20F</sub> )t=5cm(車道)	A=	400 m <sup>2</sup>
	舗装版破碎(歩道)	A=	415 m <sup>2</sup>
	表層(再生細粒度As <sub>13F</sub> )t=3cm(歩道)	A=	415 m <sup>2</sup>
	路床改良	A=	720 m <sup>2</sup>
	地盤補強工	A=	865 m <sup>2</sup>
	区画線工		
	外側線(実線、白、W=15cm)	L=	1,100 m
	中央線(実線、白、W=15cm)	L=	120 m
	中央線(破線、白、W=15cm)	L=	215 m
	横断歩道(実線、白、W=30cm)	L=	165 m
	横断歩道予告(記号、白、W=15cm)	L=	99 m
	停止線(実線、白、W=30cm)	L=	24 m

# － 特記仕様書 －

## 施工条件明示書

工事番号	項目	工事名	令和6年度(過疎債)新下町浦北線舗装補修工事	事務所名	備考
		条件	内容	施工方法	備考
1 共通仕様書の適用					
		本工事は、宮城県土木部制定「共通仕様書」を適用するほか、本特記仕様書により施工するものとする。 仕様書の記載内容の優先は、「特記仕様書」「共通特記仕様書」「共通仕様書」の順とする。			
2 主任技術者及び監理技術者(以下、配置技術者という。)の配置					
(1) 現場施工に着手する日の指定 (配置技術者の配置要件の特例) ※平成25年4月1日以降適用「現場施工の着手日を指定した工事における配置技術者の配置要件の特例について」	<input checked="" type="radio"/>		契約工期初日以降、90日以内に着手 (手持ち工事が完了した場合や、制約条件がない場合等は、期日以前の着手も可能)		
(2) 請負者が着手日を選択出来る工事(フレックス工事)	<input type="radio"/>		契約工期初日以降、〇〇日以内に着手 土木工事共通特記仕様書第1編1-1-4によること。		
(3) 上記以外	<input type="radio"/>		請負者は、現場施工に着手する日の指定がない限り、原則として、契約工期初日以降、30日以内に現場施工に着手		
上記現場施工に着手する日の前日までの期間において、工事準備等を含め工事現場が不稼働であることが明確な場合は、配置技術者の工事現場への専任は要しない。 出納局契約課ホームページ参照のこと。http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/keiyaku/kk50.html					
3 特例監理技術者の配置					
		<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	建設業法第26条第3項ただし書の規程を受ける監理技術者(特例監理技術者)の配置。 特例監理技術者を対象とする場合は下記によるものとする	
1 特例監理技術者を配置する場合は以下の(ア)～(サ)の要件を全て満たさなければならない。 (ア) 本工事の現場施工に着手する日までに、建設業法第26条第3項ただし書による監理技術者の職務を補佐する者(以下、「監理技術者補佐」という。)を専任で配置すること。 (イ) 監理技術者補佐は、一級施工管理技士補(令和3年4月1日施行予定)又は一級施工管理技士の国家資格者、学歴や実務経験により監理技術者の資格を有するものであること。なお、監理技術者補佐の建設業法第27条の規定に基づく技術検定種目は、特例監理技術者に求める技術検定種目と同じであること。 (ウ) 監理技術者補佐は入札参加者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあること。 (エ) 同一の特例監理技術者が配置できる工事は、本工事を含め同時に2件までとする。 (ただし、同一あるいは別々の発注者が、同一の建設業者と締結する契約工期の重複する複数の請負契約に係る工事であって、かつ、それぞれの工事の対象となる工作物等に一体性が認められるもの(当初の請負契約以外の請負契約が随意契約により締結される場合に限り。)については、これを複数の工事を一の工事とみなす。) (オ) 特例監理技術者が兼務できる工事は、本工事を所管する土木事務所(地域事務所)管内及び隣接土木事務所(地域事務所)管内の宮城県内で施行される工事で行なければならない。 (カ) 特例監理技術者は、施工における主要な会議への参加、現場の巡回及び主要な工程の立会等の職務を適正に遂行しなければならない。 (キ) 特例監理技術者と監理技術者補佐との間で常に連絡が取れる体制であること。 (ク) 監理技術者補佐が担う業務等について、明らかにすること。 (ケ) 専任補助者を配置しない工事であること。 (コ) 維持管理業務同士は兼務できない。 ※24時間体制で応急処理や緊急巡回等が必要な業務等 (サ) 配置技術者の追加専任を必要としないもの。 2 本工事の監理技術者が特例監理技術者として兼務する場合、配置技術者届出書及び特例監理技術者の配置を予定している場合の確認事項を提出すること。 3 本工事において、特例監理技術者及び監理技術者補佐の配置を行う場合又は配置を要さなくなった場合は適切にコリンズ(CORINNS)への登録を行うこと。					
4 積算基準及び設計単価の適用期日					
(1) 積算基準及び設計単価の適用について	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	積算基準及び設計単価は公告日の前月の基準及び単価としている。		
(2) 工事請負契約締結後における設計単価の変更	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	本工事は、当初工事請負契約締結後において、契約日を基準日として設計単価の設計変更を行うこととする。 なお、設計変更の対象は、資材単価・労務単価及び機械単価等の全ての設計単価とする。 ただし、災害に伴う応急仮工事など緊急を要す工事において、積算月と契約月が同月となる場合など、工事請負契約締結後における設計単価の変更が必要ないと判断される場合においては、適用「なし」を選択することも可能とし、その場合は下欄にその理由を記載する。 適用「なし」の理由 (例) ・本工事は災害に伴う応急仮工事であり、積算及び契約が同月となる見込みであるため。		
5 工程関係					
(1) 関連工事による施工時期の調整	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>			
(2) 施工時期による制限	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>			
(3) 関係機関等との協議の未成立	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>			
(4) 関係機関等との協議結果、特定条件の付加	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>			
6 公害対策関係					
(1) 施工方法、機械施設、作業時間等の制限	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>			
7 安全対策関係					
(1) 交通安全施設等の指定	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>			
(2) 占用埋設物との近接工事による 施工方法、作業時間の制限	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>			
8 排水工関係					
(1) 濁水、湧水処理のための特別な対策の必要性	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>			
9 建設副産物対策関係(建設発生土)					
(1) 建設発生土の処理・処分について	本工事の残土は、下記に運搬するものとする。なお、下記より難い場合が生じたときは、監督職員の指示によるものとし、設計変更の対象とする。				
			処理・処分する場所		
			名称	所在地	
(2) 建設発生土	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	処理・処分方法	距離	制限時間
処理・処分			自由処分	約3 km	時 分 ~ 時 分

10 建設副産物対策関係(建設発生土以外の建設副産物)										
(1) 建設発生土以外の建設副産物の処理・処分について		下記の処理・処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、下記によらない場合は、監督職員と協議すること。また、処理・処分に先立ち処分場等の受入れの可否を確認すること。なお、廃棄物の処理に当たっては「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」を遵守すること(環境省または循環型社会推進課のHPを参照)。								
		処理・処分する場所	処理・処分方法	距離	制限時間					
工事現場内及び工事現場間で再利用する場合は、施工管理及び契約方法等について、施工計画打合せ時に監督職員と協議すること。										
(2) 建設発生土以外の建設副産物	処理・処分	コンクリート塊	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			km	時	分	分
		アスファルト塊	<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない	宮城富士アスコ	中間処理	6.7 km	時	分	分
		建設発生木材	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			km	時	分	分
		建設汚泥	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			km	時	分	分
		その他	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			km	時	分	分
(3) 再生材の利用		<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない	種類・数量	再生密粒度As20F、再生細粒度As13F、再生遷青安定処理材、再生砕石RC-40					
11 現場環境改善										
		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	内容						
現場環境改善の具体的な実施内容、実施期間については、施工計画書に明記し、監督職員と協議すること。										
12 品質証明										
(1) 品質証明書および施工プロセス品質確認チェックリストの対象		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	請負工費が、1億5千万円以上の工事および発注者が必要と認める工事。土木工事共通特記仕様書第3編1-1-9および品質証明実施要領によること。						
(2) 施工プロセス品質確認チェックリストの対象		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	上記に該当せず、請負工費が1億円以上の工事。土木工事共通特記仕様書第3編1-1-9および品質証明実施要領によること。						
13 標準的な設計図書による発注方式										
		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	土木工事共通特記仕様書第3編1-1-14によること。						
14 資材関係										
(1) 生コンクリート		生コンクリートの使用に当たっては、「宮城県生コンクリート品質管理監査会議」が交付する「品質管理監査合格証」を有する工場の製品、又は同等以上の品質管理を行っていることが認められる工場の製品を使用すること。								
(2) 購入土		購入土を使用する場合は、材料承諾時に「採石法第33条による採取計画認可書の写し」、又は「砂利採取法第16条の採取計画認可書の写し」を提出すること。								
(3) 宮城県グリーン製品の利用		必須	1. 植生基盤材等、視線誘導標、型枠用合板は、原則として宮城県グリーン製品を用いること。							
「宮城県グリーン製品」利用推進指針によること。「宮城県グリーン製品」を使用した場合は、請負者は循環型社会推進課HPより「チェックリスト」をダウンロードし、使用材料や数量等を入力後、工事完了後に監督職員に提出(電子メール)すること。		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	2. 盛土材、埋め戻し材						
		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	3. その他( )						
(4) 県内産製品の使用		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	本工事は、「県土木部発注工事における県内産製品優先使用の試行要領」の対象工事である。工事の施工にあたっては、試行要領に基づき適切に実施すること。事業管理課ホームページ参照 <a href="http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyokanri/kensanzai.html">http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyokanri/kensanzai.html</a>						
(5) 現場吹付法枠工		吹付モルタルにおける圧縮強度の規格値は、18N/mm <sup>2</sup> 以上とする。								
15 設計変更の手続き										
(1) 設計変更の手続きについて		設計変更については、工事請負契約書第19条～第26条及び共通仕様書第1編1-1-1-14～1-1-1-16に記載しているところであるが、その具体的な考え方や手続きについては、「工事請負契約における設計変更ガイドライン」(宮城県土木部)によることとする。								
詳細については、以下のホームページ「設計変更ガイドライン【土木工事,建設関連業務】」を参考とすること。 <a href="https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyokanri/henkou-guideline.html">https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyokanri/henkou-guideline.html</a> トップページ>しごと・産業>土木・建築・不動産業>建設業>設計変更ガイドライン【土木工事,建設関連業務】										
16 その他										
(1) 舗装の下請制限について		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	土木工事共通特記仕様書第1編1-1-3によること。						
(2) 「ダンプ土砂運搬等下請を行う工事における工事費内訳調査」の対象の有無		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	本工事は「ダンプ土砂運搬等下請を行う工事における工事費内訳調査」の対象工事であり、請負者は、調査票等に必要事項を正確に記入し発注者に提出する他、ダンプ土砂運搬等下請負契約に関する関係書類を提出すること。 請負者が本工事の一部について下請契約を締結する場合には、請負者は、当該工事の受注者(当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む)も同様の義務を負う旨を周知すること。						
(3) 三者会議の対象の有無		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	本工事は、工事着手前等に当該工事の発注者、施工者、詳細設計等を担当した設計者が参加して、設計図書と現場の整合性の確認及び設計意図の伝達等を行う「三者会議」を設置する対象工事である。土木工事共通特記仕様書第3編1-1-5によること。						
(4) 貸与資料の有無		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	本仕様書によるもののほか工事施工に関して必要な資料として工事契約後下記の資料を貸与する。 貸与資料( )						
(5) 発注者支援(工事監督支援業務)対象の有無		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	工事監督支援業務の受注者が現場監督支援する場合、工事請負者に対し「工事打合せ簿」により担当技術者(所属会社等名・氏名)の通知を行うこと。						
(6) 法定外の労災保険の付保について		本工事では、法定外の労災保険加入にかかる保険料を予定価格に反映しているため、本工事において受注者は法定外の労災保険に付さなければならぬ。なお、加入後受注者は、工事請負契約書第62条に基づき、証券又はこれに代わるものを直ちに発注者に提示すること。								
(7) 熱中症対策に資する現場管理費補正の試行の有無		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	本工事は熱中症対策に資する現場管理費率の補正の試行対象工事である。本運用による設計変更を希望する場合は、別途定める「熱中症対策に資する現場管理費補正の試行要領」に基づき、発注者に協議すること。						

# 働き方改革・生産性向上に関する事項

項 目	条 件	内 容
17 総合評価落札方式における「ICT施工・3次元化等の活用提案」の適用の有無		
(1) 「ICT施工・3次元化等の活用提案」の適用工事	<input type="radio"/> 対象 <input checked="" type="radio"/> 対象外	1. 対象工事の場合、活用する技術については、「ICT施工・3次元化等の活用提案 工事計画書」に基づき選択すること。 2. ICT施工・3次元化等の活用提案の適用の有無に係わらず、「ICT施工・3次元化等の活用提案 工事計画書」に記載の技術は、施工計画・技術提案等(いわゆる作文)の評価対象外とする。「簡易型(施工計画型)」、「標準型」、「高度型」の場合 なお、「ICT施工・3次元化等の活用提案」の対象外工事の場合も、同様の取扱いとする。
(2) 実施された技術についての費用計上(設計変更)	<input type="radio"/> 対象 <input checked="" type="radio"/> 対象外	設計変更の積算手法については、総合評価落札方式の手引きのとおりとする。なお、(1)が対象外の場合は、当該項目も対象外となる。
18 業務効率化		
(1) 工事情報共有システムの活用	<input type="radio"/> 対象 <input checked="" type="radio"/> 対象外	本工事は工事情報共有システムの活用対象工事であり、請負者は工事着手時に別途定める「工事情報共有システム事前協議チェックシート」により、必要事項について監督職員と協議を行うこと。実施にあたっては「土木工事における工事情報共有システムの実施要領」及び「土木工事における工事情報共有システムの活用ガイドライン」に基づき行うこと。
(2) 工事書類の簡素化の試行について	<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	本工事は、工事書類の簡素化を目的とした試行対象工事である。実施にあたっては「宮城県土木部における工事書類簡素化の試行要領」に基づき行うこと。
(3) ウィークリースタンス等の推進		本工事は、受発注者協力のもと、建設業の魅力創出を図ることを目的にウィークリースタンス等の推進を図ることとし、「ウィークリースタンス等実施要領」に基づき、取組内容を受発注者間で協議及び共有し、工事を進めていくこととする。 詳細については、宮城県土木部事業管理課のホームページを参照すること。(http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyokanri/weekly.html)
19 週休2日工事の適用の有無		
(1) 週休2日工事	<input checked="" type="radio"/> 対象 <input type="radio"/> 実施困難工事	1. 週休2日工事の対象工事の場合は、宮城県土木部「週休2日工事実施要領」に基づき行うこととする。 なお、週休2日工事の型式については、下記(2)のとおりとする。 2. 改正労働基準法(平成30年6月成立)による罰則付きの時間外労働規制が令和6年4月から建設業に適用されることを踏まえ、令和6年4月には、維持工事等も含めて、週休2日の確保を目指すことから、「週休2日工事」での発注を原則とする。ただし、応急復旧工事などの場合は、例外的に週休2日対象工事としないことも可能とする。その場合は「実施困難工事」として、下欄にその理由を記載する。 <b>(※港湾工事における週休2日工事の経費補正については、特記事項に記載のとおりとする。)</b>  実施困難工事の理由 (例) ・応急復旧工事のため早期に工事を完成させる必要があり、週休2日の確保が困難なため
(2) 週休2日工事の型式	発注者指定型(現場閉所型) <input checked="" type="radio"/> 発注者指定型(交替制) <input type="radio"/>	当初積算時に4週8休以上を確保した場合の経費の補正を行うこととし、設計変更時に達成状況に応じた補正の見直しを行うこととする。
20 女性活躍推進モデル工事の適用の有無		
(1) 女性活躍推進モデル工事	<input type="radio"/> 対象 <input checked="" type="radio"/> 対象外	実施にあたっては、宮城県土木部「女性活躍推進モデル工事実施要領」に基づき行うものとする。実施要領は、宮城県ホームページ(https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyokanri/)で確認のこと。
21 下請承認事務簡素化モデル工事の適用の有無		
(1) 下請承認事務簡素化モデル工事	<input type="radio"/> 対象 <input checked="" type="radio"/> 対象外	実施にあたっては、発注者から工事打合せ簿により、「下請承認事務簡素化モデル工事」である旨を別途指示するものとする。
22 建設現場等における遠隔臨場の実施について		
		1. 建設現場における遠隔臨場の実施 「建設現場における遠隔臨場の実施」は、受注者における「段階確認に伴う手待ち時間の削減や確認書類の簡素化」や発注者(監督員)における「現場臨場の削減による効率的な時間の活用」を目指し、動画撮影用のカメラ(ウェアラブルカメラ等)とWeb会議システム等を介して「段階確認」、「材料確認」と「立会」の遠隔臨場を行うものである。なお、遠隔臨場は、『建設現場等における遠隔臨場に関する実施要領(案)』の内容に従い実施する。 2. 遠隔臨場を適用する工種、確認項目 現場条件により遠隔臨場の適用性が一致しない場合も想定されることから、現場での適用・不適用については、受発注者間に協議の上、適用する工種・確認項目を選定することとする。 3. 実施内容 (1) 段階確認・材料確認、立会での確認 受注者が動画撮影用のカメラ(ウェアラブルカメラ等)により取得した映像及び音声等をWeb会議システム等を介して「段階確認」、「材料確認」と「立会」を行うものである。 (2) 機器の準備 遠隔臨場に要する動画撮影用のカメラ(ウェアラブルカメラ等)やWeb会議システム等は受注者が手配、設置するものとする。これによらない場合は監督職員等と協議し決定するものとする。 (3) 遠隔臨場を中断した場合の対応 電波状況等により遠隔臨場が中断された場合の対応について、事前に受発注者間で協議を行う。対応方法に関しては、確認箇所を画像・映像で記録したものをメール等の代替手段で共有し、監督職員等は机上確認することも可能とする。なお、本項目は受発注者間で協議し、別日の現場臨場に変更することを妨げるものではない。 (4) 効果の検証 遠隔臨場を通じた効果の検証及び課題の抽出に関するアンケート調査に協力するものとする。詳細は、監督職員等の指示による。 (5) 費用 遠隔臨場にかかる費用については、標準積算基準の率計上に含まれる。なお、通信環境確保のための中継局を設置する場合などは、現場条件により積み上げにより計上する場合もあることから、事前に監督職員と協議すること。 (6) 不正行為 遠隔臨場において故意に不良箇所を撮影しない等の不正行為等を行った場合は、県内規(不良不適格業者排除マニュアル等)に従い、処分を実施する場合がある。

# 東日本大震災に伴う特例制度

項 目	条 件	内 容	施 行 方 法	備 考
23 被災地以外からの労働者確保に要する間接費の設計変更の運用				
(1) 労働者確保に関する積算方法の試行工事	○ある	●ない	<p>1 本工事は、「共通仮設費(率分)のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の下記に示す費用(以下「実績変更対象間接費」という。)について、契約締結後、労働者確保に要する方策に変更が生じ、宮城県土木部においては土木工事標準積算基準(宮城県土木部)に基づき金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて最終積算変更時点で設計変更する「労働者確保に関する積算方法の工事」である。</p> <p>営繕費:労働者送迎費、宿泊費、借上費                      労務管理費:募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用</p> <p>2 本工事の予定価格の算出の基礎とした設計額(宮城県土木部においては、土木工事標準積算基準に基づき算出した額)における実績変更対象間接費の割合は次のとおりである。</p> <p>1) 共通仮設費(率分)に占める実績変更対象間接費(労働者送迎費、宿泊費、借上費)の割合: <b>9.19%</b>                      2) 現場管理費に占める実績変更対象間接費(募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用)の割合: <b>1.29%</b></p> <p>3 受注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計変更を希望する場合は、実績変更対象間接費に係る費用の内訳を記載した「労働者確保に係る実績報告書(様式1)」及び実績変更対象間接費について実際に支払った全ての証明書類(領収書、領収書の出ないものは金額の適切性を証明する金額計算書など。)を監督員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。</p> <p>4 受注者の責めによる工事工程の遅れ等受注者の責めに帰すべき事由による増加費用については、設計変更の対象としない。</p> <p>5 発注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、受注者が実績変更対象間接費について実際に支払った額のうち証明書類において確認された費用から、宮城県土木部においては土木工事標準積算基準(宮城県土木部)に基づき算出した額における実績変更対象間接費を差し引いた費用を加算して算出する。なお、全ての証明書類の提出がない場合であっても、提出された証明書類をもって設計変更を行うものとする。</p> <p>6 受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については、法的措置及び入札参加資格制限等の措置を行う場合がある。</p> <p>7 受注者は、実績変更対象間接費にかかる設計変更について疑義が生じた場合は、監督員と協議するものとする。</p>	
(2) 労働者宿舍設置に関する積算方法の試行工事	○ある	●ない	<p>本工事は、「労働者宿舍設置に関する試行要領」(以下試行要領)の対象工事である。                      労働者宿舍の設置を希望する場合については、「試行要領」に基づき監督職員と事前に協議すること。</p>	
24 遠隔地からの建設資材調達に係る設計変更				
(1) 遠隔地からの建設資材調達に係る設計変更	○ある	●ない	<p>下記の建設資材は、通常地域内から調達することを想定しているが、安定的な確保を図るために、当該調達地域以外から調達せざるを得ない場合には、事前に監督職員と協議するものとする。また、購入費及び輸送費に要した費用については、証明書類(契約書及び納品書等)を添付するものとする。なお、添付する証明書類(契約書及び納品書等)は原本を提示(写しの提出)とし、受注者名、納品者名、使用資材名、規格・形状、使用(納品)日、使用(納品)数量等が記載されている物を監督員に提出し、その費用について設計変更することとする。</p> <p>購入費の対象は、生コンクリート・アスファルト合材・石材等(山砂、碎石、捨石、被覆石等)とする。                      輸送費の対象は、仮設材(鋼矢板等)とする。</p>	<p>受注者は、購入費及び輸送費を変更したい場合は、「工事打合せ簿」に次の事項を記載し発注者に提出し協議するものとする。</p> <p>1 地域内及び基地に、建設資材がないことを証明する資料(打合せメモ等)                      2 遠隔地から購入及び輸送する建設資材の名称・規格及び製造・生産工場の名称(使用材料の建設資材名及び規格・形状等の証明資料「品質証明」)                      3 遠隔地から建設資材を購入及び輸送する理由                      4 製造・生産工場を選定した理由                      5 見積もり書                      6 その他、必要と思われる事項</p>
25 施工箇所が点在する工事の間接費の積算				
(1) 施工箇所が点在する工事積算方法の試行の対象工事	○ある	●ない	<p>本工事は、施工箇所が点在する工事であり、共通仮設費及び現場管理費について標準積算と施工実態に乖離が考えられるため、「○○地区(施工箇所○○、○○)、△△地区(施工箇所○○、○○)地区(施工箇所○○)」(以下、対象地区という)ごとに共通仮設費及び現場管理費を算出する「施工箇所が点在する工事積算方法の試行」の対象工事である。</p>	<p>本工事における共通仮設費の金額は、対象地区毎に算出した共通仮設費を合計した金額とする。また、現場管理費の金額も同様とし、対象地区毎に算出した現場管理費を合計した金額とする。なお、共通仮設費率及び現場管理費率の補正(大都市、施工地域等)については、対象地区毎に設定する。</p>
26 その他				
(1) 土砂等建設資材を供給元で引取する場合の積算の取扱い	○ある	●ない	<p>・本工事の施工において、調達(購入)する予定の○○の設計単価は、現場持込価格(単価)としている。ただし、契約後、施工計画に基づき、○○の調達条件について異なる場合は、監督職員と協議すること。                      ・資材搬入において、標準作業以外の作業(現場外の仮置き等)が生じる場合は、監督職員と協議すること。</p>	
(2) 東日本大震災の復旧・復興事業等における積算方法等に関する試行について	○ある	●ない	<p>間接工事費(共通仮設費及び現場管理費)について、工事量の増大による資材やダンプトラック等の不足による作業効率の低下等により現場の実支出が増大し、積算基準による積算と乖離が生じていることが確認されたため、積算基準書等により各工種区分に従って対象額ごとに求めた共通仮設費率及び現場管理費率に、それぞれ以下の補正係数を乗じている。</p> <p>補正係数 共通仮設費:1.3 現場管理費:1.1</p>	

# 特記事項

1 追加事項1			
(1) 工程表の提出について	施工にあたっては、毎週末に翌週の週間工程表を提出願います。		
(2) 交通誘導員について	交通誘導員は日当たり施工量を基に算出しております。		
(3) 追加			
(4) 追加			
(5) 追加			
2 追加事項2			
(1) 追加			
(2) 追加			
(3) 追加			
(4) 追加			
(5) 追加			
3 追加事項3			
(1) 追加			
(2) 追加			
(3) 追加			
(4) 追加			
(5) 追加			
4 追加事項4			
(1) 追加			
(2) 追加			
(3) 追加			
(4) 追加			
(5) 追加			
5 追加事項5			
(1) 追加			
(2) 追加			
(3) 追加			
(4) 追加			
(5) 追加			
6 追加事項6			
(1) 追加			
(2) 追加			
(3) 追加			
(4) 追加			
(5) 追加			
7 追加事項7			
(1) 追加			
(2) 追加			
(3) 追加			
(4) 追加			
(5) 追加			

# 設計内訳書 (本01)

工事名	令和6年度(過疎債)新下町浦北線舗装補修工事				事業区分 工事区分	道路維持・修繕 道路修繕	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
道路修繕							
		式	1				
舗装工							
		式	1				
路面切削工							
		式	1				
路面切削	施工区分・平均切削深さ:全面切削6cm以下(4000m2を超え),段差すりつけ撤去作業:有り						単 1号
		m2	4,500				
殻運搬(路面切削)	殻種別:アスファルト殻						単 2号
		m3	225				
殻処分	殻種別:アスファルト殻						単 3号
		m3	225				
オーバーレイ工							
		式	1				
表層(車道・路肩部)	材料種類:各種(2.30以上2.40t/m3未満),材料規格:再生密粒度As20F,舗装厚:50mm,平均幅員:3.0m超						単 4号
		m2	4,500				
舗装打換え工 歩道部							
		式	1				
舗装版切断	舗装版種別:アスファルト舗装版,舗装厚:30mm						単 5号
		m	11				
舗装版破砕	舗装版種別:アスファルト舗装版,舗装版厚:3cm						単 6号
		m2	3,390				
殻運搬	殻種別:舗装版破砕						単 7号
		m3	102				
殻処分	殻種別:アスファルト殻						単 8号
		m3	102				



# 設計内訳書 (本01)

工事名	令和6年度（過疎債）新下町浦北線舗装補修工事				事業区分 工事区分	道路維持・修繕 道路修繕	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
不陸修正		m2	3,390				単 9号
表層	材料種類:各種(2.30以上2.40t/m3未満),材料規格:再生細粒度As13F,舗装厚:30mm,平均幅員:1.4m以上	m2	3,390				単 10号
支障木抜根	支障木抜根・処分	式	1				内 1号
植樹ブロック撤去再設置		箇所	30				単 11号
舗装打換え工 車道乗入部		式	1				
舗装版切断	舗装版種別:アスファルト舗装版,舗装厚:50mm	m	112				単 12号
舗装版破碎	舗装版種別:アスファルト舗装版,舗装版厚:5cm	m2	340				単 13号
殻運搬	殻種別:舗装版破碎	m3	17				単 14号
殻処分	殻種別:アスファルト殻	m3	17				単 15号
不陸修正		m2	340				単 16号
表層 車道	材料種類:各種(2.30以上2.40t/m3未満),材料規格:再生密粒度As20F,舗装厚:50mm,平均幅員:3.0m超	m2	340				単 17号
舗装打換え工 横断BOX段差部		式	1				
舗装版切断 車道部	舗装版種別:アスファルト舗装版,舗装厚:110mm	m	16				単 18号

# 設計内訳書 (本01)

工事名	令和6年度（過疎債）新下町浦北線舗装補修工事				事業区分 工事区分	道路維持・修繕 道路修繕	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
舗装版切断 歩道部	舗装版種別:アスファルト舗装版, 舗装厚:30mm						単 19号
		m	16				
舗装版破碎 車道部	舗装版種別:アスファルト舗装版, 舗装版厚:11cm						単 20号
		m2	400				
舗装版破碎 歩道部	舗装版種別:アスファルト舗装版, 舗装版厚:3cm						単 21号
		m2	415				
殻運搬	殻種別:舗装版破碎						単 22号
		m3	56				
殻処分	殻種別:アスファルト殻						単 23号
		m3	56				
掘削（路盤）							単 24号
		m3	190				
運搬（路盤）							単 25号
		m3	190				
路床改良	セメント改良						単 26号
		m2	720				
地盤補強工	地盤補強シート						単 27号
		m2	865				
下層路盤 歩道	路盤材種類:再生クラッシュラン RC-40, 仕上り厚:100mm						単 28号
		m2	415				
下層路盤 車道	路盤材種類:再生クラッシュラン RC-40, 仕上り厚:370mm						単 29号
		m2	400				
上層路盤 車道	路盤材種類:再生瀝青安定処理材(40), 仕上り厚:60mm						単 30号
		m2	400				
表層 歩道	材料種類:各種(2.30以上2.40t/m3未満). 材料規格:再生細粒度As13F, 舗装厚:30mm, 平均幅員:1.4m以上						単 31号
		m2	415				

# 設計内訳書 (本01)

工事名	令和6年度(過疎債)新下町浦北線舗装補修工事				事業区分 工事区分	道路維持・修繕 道路修繕		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要	
表層 車道	材料種類:各種(2.30以上2.40t/m3未満),材料規格: 再生密粒度As20F,舗装厚:50mm,平均幅員:3.0m超	m2	400				単 32号	
		式	1					
排水構造物工		式	1					
		式	1					
側溝工		式	1					
		式	1					
フレキストL型側溝 撤去再設置	側溝規格:各種	m	100				単 33号	
		m	100					
L型縁塊 撤去再設置		m	6				単 34号	
		m	6					
区画線工		式	1					
		式	1					
区画線工		式	1					
		式	1					
溶融式区画線 外側線	施工方法区分:溶融式手動,規格・仕様区分:実線 1 5cm,塗布厚:厚1.0mm,排水性舗装:無し	m	1,100				単 35号	
		m	1,100					
溶融式区画線 中央線	施工方法区分:溶融式手動,規格・仕様区分:実線 1 5cm,塗布厚:厚1.0mm,排水性舗装:無し	m	120				単 36号	
		m	120					
溶融式区画線 破線	施工方法区分:溶融式手動,規格・仕様区分:破線 1 5cm,塗布厚:厚1.0mm,排水性舗装:無し	m	215				単 37号	
		m	215					
溶融式区画線 横断歩道	施工方法区分:溶融式手動,規格・仕様区分:実線 3 0cm,塗布厚:厚1.0mm,排水性舗装:無し	m	165				単 38号	
		m	165					
溶融式区画線 ダイヤマーク	施工方法区分:溶融式手動,規格・仕様区分:矢印・ 記号・文字 15cm換算,塗布厚:厚1.0mm,排水性舗装: 無し	m	99				単 39号	
		m	99					
溶融式区画線 停止線	施工方法区分:溶融式手動,規格・仕様区分:実線 3 0cm,塗布厚:厚1.0mm,排水性舗装:無し	m	24				単 40号	
		m	24					

# 設計内訳書（本01）

工事名	令和6年度（過疎債）新下町浦北線舗装補修工事				事業区分 工事区分	道路維持・修繕 道路修繕	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
溶融式区画線 止まれ標示	施工方法区分:溶融式手動,規格・仕様区分:矢印・ 記号・文字 15cm換算,塗布厚:厚1.0mm,排水性舗装 :無し	m	37				単 41号
仮設工		式	1				
交通管理工		式	1				
交通誘導警備員 誘導員B		人日					単 42号
直接工事費		式	1				
共通仮設		式	1				
共通仮設費		式	1				
運搬費		式	1				
建設機械運搬費		台	2				単 43号
共通仮設費（率計上）		式	1				
純工事費		式	1				
現場管理費		式	1				
工事原価		式	1				

# 設計内訳書 (本01)

工事名	令和6年度（過疎債）新下町浦北線舗装補修工事				事業区分 工事区分	道路維持・修繕 道路修繕	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
一般管理費等		式	1				
工事価格		式	1				
消費税額及び地方消費税額		式	1				
工事費計		式	1				

# 一式当り内訳書

単価使用年月	2023.07
歩掛適用年月	2023.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

内 1号	支障木抜根	支障木抜根・処分					
名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
支障木抜根（機械抜根） 幹周30cm以上60cm未満		本	40				単 45号
ダンプトラック運搬	25km, 上記以外, 2t, 粘性土・砂・砂質土・礫質土, ハック材山積0.28m3(平積0.2m3), 良好	m3	2				単 46号
処分費(m3)	無	m3	2				単 47号
合計							

# 1次単価表

単価使用年月	2024.09
歩掛適用年月	2024.09
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 1号	路面切削	施工区分・平均切削深さ:全面切削6cm以下(4000m2を超え),段差すりつけ撤去作業:有り	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	路面切削	全面切削6cm以下(4000m2を超え),有り,全ての費用	m2	1				
	合計							
	単価						円/m2	

# 1次単価表

単価使用年月	2024.09
歩掛適用年月	2024.09
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 2号	殻運搬(路面切削)	殻種別:アスファルト殻	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	殻運搬(路面切削)	無し,7.5km以下,全ての費用	m3	1				
	合計							
	単価						円/m3	

# 1次単価表

単価使用年月	2024.09
歩掛適用年月	2024.09
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 3号	処分	殻種別:アスファルト殻	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費(m3)		無					単 44号	
			m3	1				
合計								
単価							円/m3	

# 1次単価表

単価使用年月	2024.09
歩掛適用年月	2024.09
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 4号	表層(車道・路肩部)	材料種類:各種(2.30以上2.40t/m3未満),材料規格:再生密粒度As20F,舗装厚:50mm,平均幅員:3.0m超	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
表層(車道・路肩部)		3.0m超,50mm,各種(2.30以上2.40t/m3未満),タックコート PK-4,全ての費用						
			m2	1				
合計								
単価							円/m2	



# 1次単価表

単価使用年月	2024.09
歩掛適用年月	2024.09
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 5号	舗装版切断	舗装版種別:アスファルト舗装版, 舗装厚:30mm	単位	m	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
舗装版切断		アスファルト舗装版, 15cm以下, 全ての費用	m	1				
合計								
単価							円/m	

# 1次単価表

単価使用年月	2024.09
歩掛適用年月	2024.09
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 6号	舗装版破碎	舗装版種別:アスファルト舗装版, 舗装版厚:3cm	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
舗装版破碎		アスファルト舗装版, 無し, 不要, 15cm以下, 有り, 全ての費用	m2	1				
合計								
単価							円/m2	

# 1次単価表

単価使用年月	2024.09
歩掛適用年月	2024.09
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 7号	殻運搬	殻種別:舗装版破碎	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
殻運搬		舗装版破碎,機械積込(小規模土工), 無し,7.0km以下,全ての費用	m3	1				
合計								
単価							円/m3	

# 1次単価表

単価使用年月	2024.09
歩掛適用年月	2024.09
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 8号	殻処分	殻種別:アスファルト殻	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費(m3)		無	m3	1			単 44号	
合計								
単価							円/m3	

# 1次単価表

単価使用年月	2024.09
歩掛適用年月	2024.09
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 9号	不陸整正		単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件		単位	数量	単価	金額	摘要
不陸整正		無し, 全ての費用		m2	1			
合計								
単価								円/m2

# 1次単価表

単価使用年月	2024.09
歩掛適用年月	2024.09
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 10号	表層	材料種類: 各種 (2.30以上2.40t/m3未満), 材料規格: 再生細粒度As13F, 舗装厚: 30mm, 平均幅員: 1.4m以上	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件		単位	数量	単価	金額	摘要
表層(歩道部)		1.4m以上, 30mm, 各種 (2.30以上2.40t/m3未満), プライムコート PK-3, 全ての費用		m2	1			
合計								
単価								円/m2

# 1次単価表

単価使用年月	2024.09
歩掛適用年月	2024.09
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 11号	植樹ブロック撤去再設置		単位	箇所	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	地先境界ブロック撤去	再利用	m	4.7				
	地先境界ブロック	再利用設置, 各種600-1000mm以下50-150kg未満, 無し, 無し	m	4.7				
	合計							
	単価							円/箇所

# 1次単価表

単価使用年月	2024.09
歩掛適用年月	2024.09
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 12号	舗装版切断	舗装版種別:アスファルト舗装版, 舗装厚:50mm	単位	m	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	舗装版切断	アスファルト舗装版, 15cm以下, 全ての費用	m	1				
	合計							
	単価							円/m

# 1次単価表

単価使用年月	2024.09
歩掛適用年月	2024.09
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 13号	舗装版破碎	舗装版種別:アスファルト舗装版, 舗装版厚:5cm	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
舗装版破碎		アスファルト舗装版, 無し, 不要, 15cm以下, 有り, 全ての費用	m2	1				
合計								
単価							円/m2	

# 1次単価表

単価使用年月	2024.09
歩掛適用年月	2024.09
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 14号	殻運搬	殻種別:舗装版破碎	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
殻運搬		舗装版破碎, 機械積込(小規模土工), 無し, 7.0km以下, 全ての費用	m3	1				
合計								
単価							円/m3	

# 1次単価表

単価使用年月	2024.09
歩掛適用年月	2024.09
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 15号	殻処分	殻種別:アスファルト殻	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費(m3)		無	m3	1			単 44号	
合計								
単価							円/m3	

# 1次単価表

単価使用年月	2024.09
歩掛適用年月	2024.09
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 16号	不陸整正		単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
不陸整正		無し,全ての費用	m2	1				
合計								
単価							円/m2	

# 1次単価表

単価使用年月	2024.09
歩掛適用年月	2024.09
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 17号	表層	材料種類:各種(2.30以上2.40t/m3未満),材料規格:再生密粒度As20F,舗装厚:50mm,平均幅員:3.0m超	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
表層(車道・路肩部)		3.0m超,50mm,各種(2.30以上2.40t/m3未満),タックコート PK-4,全ての費用	m2	1				
合計								
単価							円/m2	

# 1次単価表

単価使用年月	2024.09
歩掛適用年月	2024.09
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 18号	舗装版切断	舗装版種別:アスファルト舗装版,舗装厚:110mm	単位	m	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
舗装版切断		アスファルト舗装版,15cm以下,全ての費用	m	1				
合計								
単価							円/m	

# 1次単価表

単価使用年月	2024.09
歩掛適用年月	2024.09
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 19号	舗装版切断	舗装版種別:アスファルト舗装版, 舗装厚:30mm	単位	m	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
舗装版切断		アスファルト舗装版, 15cm以下, 全ての費用	m	1				
合計								
単価							円/m	

# 1次単価表

単価使用年月	2024.09
歩掛適用年月	2024.09
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 20号	舗装版破碎	舗装版種別:アスファルト舗装版, 舗装版厚:11cm	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
舗装版破碎		アスファルト舗装版, 無し, 不要, 15cm以下, 有り, 全ての費用	m2	1				
合計								
単価							円/m2	



# 1次単価表

単価使用年月	2024.09
歩掛適用年月	2024.09
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 21号	舗装版破碎	舗装版種別:アスファルト舗装版, 舗装版厚:3cm	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
舗装版破碎		アスファルト舗装版, 無し, 不要, 15cm以下, 有り, 全ての費用	m2	1				
合計								
単価							円/m2	

# 1次単価表

単価使用年月	2024.09
歩掛適用年月	2024.09
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 22号	殻運搬	殻種別: 舗装版破碎	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
殻運搬		舗装版破碎, 機械積込(小規模土工), 無し, 7.0km以下, 全ての費用	m3	1				
合計								
単価							円/m3	

# 1次単価表

単価使用年月	2024.09
歩掛適用年月	2024.09
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 23号	処分	殻種別:アスファルト殻	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費(m3)		無	m3	1			単 44号	
合計								
単価							円/m3	

# 1次単価表

単価使用年月	2024.09
歩掛適用年月	2024.09
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 24号	掘削(路盤)		単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
掘削		土砂, 上記以外(小規模), 小規模(標準)	m3	1				
合計								
単価							円/m3	

# 1 次単価表

単価使用年月	2024.09
歩掛適用年月	2024.09
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 25号	運搬（路盤）		単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土砂等運搬	小規模,バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む),無し,3.5km以下	m3	1				
	整地	残土受入れ地での処理	m3	1				
	合計							
	単価							円/m3

# 1次単価表

単価使用年月	2023.06
歩掛適用年月	2023.06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 26号	路床改良	セメント改良	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	掘削	土砂, オープンカット, 無し, 無し, 5,000m3 未満	m3	0.5				
	埋戻し	最大埋戻幅4m以上	m3	0.5				
	セメント(普通ポルトランド) ハラ		t	0.025				
	合計							
	単価							円/m2

# 1次単価表

単価使用年月	2024.09
歩掛適用年月	2024.09
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 27号	地盤補強工	地盤補強シート	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
地盤補強シート			m2	1				
補強材取付 (ｼﾞｮｹﾞｽﾀｲﾙ補強土壁二重壁ﾀｲﾌﾟ)			m2	1				
合計								
単価							円/m2	

# 1次単価表

単価使用年月	2024.09
歩掛適用年月	2024.09
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 28号	下層路盤	路盤材種類:再生クラッシュラン RC-40, 仕上り厚:100mm	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
下層路盤(歩道部)		100mm, 1層施工, 再生クラッシュラン RC-40, 全ての費用	m2	1				
合計								
単価							円/m2	

# 1次単価表

単価使用年月	2024.09
歩掛適用年月	2024.09
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 29号	下層路盤	路盤材種類:再生クラッシュラン RC-40, 仕上り厚:370mm	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
下層路盤(車道・路肩部)		370mm, 2層施工, 再生クラッシュラン RC-40, 全ての費用	m2	1				
合計								
単価							円/m2	

# 1次単価表

単価使用年月	2024.09
歩掛適用年月	2024.09
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 30号	上層路盤	路盤材種類:再生瀝青安定処理材(40), 仕上り厚:60mm	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
上層路盤(車道・路肩部)		再生瀝青安定処理材(40), 1.4m未満(仕上厚50mm以下), 50mm, タックコート PK-4, 全ての費用	m2	1				
合計								
単価							円/m2	

# 1次単価表

単価使用年月	2024.09
歩掛適用年月	2024.09
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 31号	表層	材料種類:各種(2.30以上2.40t/m3未満),材料規格:再生細粒度As13F,舗装厚:30mm,平均幅員:1.4m以上	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
表層(歩道部)		1.4m以上,30mm,各種(2.30以上2.40t/m3未満),ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3,全ての費用	m2	1				
合計								
単価							円/m2	

# 1次単価表

単価使用年月	2024.09
歩掛適用年月	2024.09
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 32号	表層	材料種類:各種(2.30以上2.40t/m3未満),材料規格:再生密粒度As20F,舗装厚:50mm,平均幅員:3.0m超	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
表層(車道・路肩部)		3.0m超,50mm,各種(2.30以上2.40t/m3未満),ﾀｯｸｺｰﾄ PK-4,全ての費用	m2	1				
合計								
単価							円/m2	

# 1次単価表

単価使用年月	2024.09
歩掛適用年月	2024.09
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 33号	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	単価	摘要
	プレキャストL型側溝	側溝規格:各種	m	1				
	プレキャストL形側溝(製品長 0.6m/個)	据付・撤去,無し,各種,全ての費用	m	1				
	合計							
	単価						円/m	

# 1次単価表

単価使用年月	2024.09
歩掛適用年月	2024.09
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 34号	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	単価	摘要
	L型縁塊		m	1				
	プレキャストL形側溝(製品長 0.6m/個)	据付・撤去,無し,各種,全ての費用	m	1				
	構造物とりこわし	鉄筋構造物,人力施工,無し,無し	m3	0.1				単 48号
	合計							
	単価						円/m	



# 1次単価表

単価使用年月	2024.09
歩掛適用年月	2024.09
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 35号	熔融式区画線	施工方法区分:熔融式手動,規格・仕様区分:実線 15cm,塗布厚:厚1.0mm,排水性舗装:無し	単位	m	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
区画線設置		無し,熔融式手動,無し,実線 15cm,無し,1.0mm,無し,無し,含有量15~18%,白,アスファルト舗装,全ての費用	m	1			単 49号	
合計								
単価							円/m	

# 1次単価表

単価使用年月	2024.09
歩掛適用年月	2024.09
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 36号	熔融式区画線	施工方法区分:熔融式手動,規格・仕様区分:実線 15cm,塗布厚:厚1.0mm,排水性舗装:無し	単位	m	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
区画線設置		無し,熔融式手動,無し,実線 15cm,無し,1.0mm,無し,無し,含有量15~18%,白,アスファルト舗装,全ての費用	m	1			単 49号	
合計								
単価							円/m	

# 1 次単価表

単価使用年月	2024.09
歩掛適用年月	2024.09
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 37号	熔融式区画線	施工方法区分:熔融式手動,規格・仕様区分:破線 15cm,塗布厚:厚1.0mm,排水性舗装:無し	単位	m	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
区画線設置		無し,熔融式手動,無し,破線 15cm,無し,1.0mm,無し,無し,含有量15~18%,白,アスファルト舗装,全ての費用	m	1			単 50号	
合計								
単価							円/m	

# 1 次単価表

単価使用年月	2024.09
歩掛適用年月	2024.09
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 38号	熔融式区画線	施工方法区分:熔融式手動,規格・仕様区分:実線 30cm,塗布厚:厚1.0mm,排水性舗装:無し	単位	m	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
区画線設置		無し,熔融式手動,無し,実線 30cm,無し,1.0mm,無し,無し,含有量15~18%,白,アスファルト舗装,全ての費用	m	1			単 51号	
合計								
単価							円/m	

# 1次単価表

単価使用年月	2024.09
歩掛適用年月	2024.09
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 39号	溶融式区画線	施工方法区分:溶融式手動,規格・仕様区分:矢印・記号・文字 15cm換算,塗布厚:厚1.0mm,排水性舗装:無し	単位	m	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
区画線設置		無し,溶融式手動,無し,矢印・記号・文字 15cm換算,無し,1.0mm,無し,無し,含有量15~18%,白,アスファルト舗装,	m	1			単 52号	
合計								
単価							円/m	

# 1次単価表

単価使用年月	2024.09
歩掛適用年月	2024.09
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 40号	溶融式区画線	施工方法区分:溶融式手動,規格・仕様区分:実線 30cm,塗布厚:厚1.0mm,排水性舗装:無し	単位	m	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
区画線設置		無し,溶融式手動,無し,実線 30cm,無し,1.0mm,無し,無し,含有量15~18%,白,アスファルト舗装,全ての費用	m	1			単 51号	
合計								
単価							円/m	

# 1次単価表

単価使用年月	2024.09
歩掛適用年月	2024.09
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 41号	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	単価	摘要
	溶融式区画線	施工方法区分:溶融式手動,規格・仕様区分:矢印・記号・文字 15cm換算,塗布厚:厚1.0mm,排水性舗装:無し	m	1			1	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額		摘要
	区画線設置	無し,溶融式手動,無し,矢印・記号・文字 15cm換算,無し,1.0mm,無し,無し,含有量15~18%,白,アスファルト舗装,	m	1				単 53号
	合計							
	単価							円/m

# 1次単価表

単価使用年月	2024.09
歩掛適用年月	2024.09
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 42号	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	単価	摘要
	交通誘導警備員		人日				1	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額		摘要
	交通誘導警備員B		人日					単 54号
	合計							
	単価							円/人日

# 1次単価表

単価使用年月	2024.09
歩掛適用年月	2024.09
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

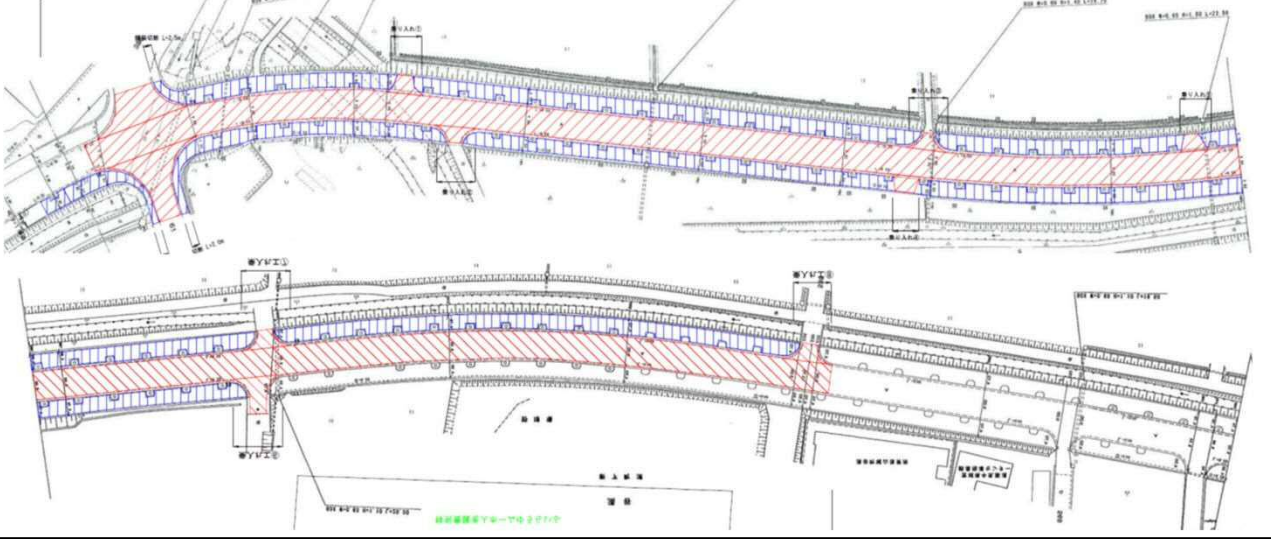
単 43号	建設機械運搬費		単位	台	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
貨物自動車による運搬(1車1回)		路面切削機(ホイール廃材積込付)2.0m, 50km, 無, 有	台	1			単 55号	
合計								
単価							円/台	

## 数量総括表

工目	工種	規格・寸法	単位	数量	数量	備考
舗装工						
路面切削工	路面切削	切削深さ t=5cm	m2	4496.9	4500	
	殻運搬・処理		m3	224.9	225	
オーバーレイ工	表層	再生密粒度As20F t=5cm	m2	4496.9	4497	
舗装打換え工	舗装版切断	t=3cm	m	10.8	11	
【歩道】	舗装版破碎		m2	3385.5	3390	
	殻運搬・処理		m3	101.6	102	
	不陸整正	補足材無し	m2	3385.5	3390	
	表層	再生密細粒度As13F t=3cm	m2	3385.5	3390	
	支障木伐根		式	1.0	1	
	植樹ブロック撤去再設置		箇所	30.0	30	
舗装打換え工	舗装版切断	t=5cm	m	111.8	112	
【車道(乗り入れ部)】	舗装版破碎		m2	342.8	340	
	殻運搬・処理		m3	17.1	17	
	不陸整正	補足材無し	m2	342.8	340	
	表層	再生密粒度As20F t=5cm	m2	342.8	340	
舗装打換え工	舗装版切断	t=11cm	m	16.0	16	車道
【横断BOX段差部】	舗装版切断	t=3cm	m2	16.0	16	歩道
	舗装版破碎		m2	400.0	400	車道
	舗装版破碎		m2	415.0	415	歩道
	殻運搬・処理		m3	56.5	56	
	掘削(路盤)	車道t=37cm、歩道t=10cm	m3	189.5	190	
	運搬(路盤)		m3	189.5	190	
	路床改良	セメント改良、t=30cm、50kg/m3	m2	712.5	720	
	地盤補強シート		m2	865.0	865	
	下層路盤	RC-40,t=10cm	m2	415.0	415	歩道
	下層路盤	RC-40,t=37cm	m2	400.0	400	車道
	上層路盤	再生瀝青安定処理材,t=6cm	m2	400.0	400	車道
	表層	再生密粒度As20F t=5cm	m2	400.0	400	車道
	表層	再生細粒度As13F t=3cm	m2	415.0	415	歩道



## 数量集計表

工種	種別	計算式	数量	
				
路面切削工	路面切削	$550.0 \times 8.0$	= 4,400.0 m <sup>2</sup>	
		交差点部 $(9.3+26.0) \times 10.0 \times 1/2$	= 176.50 m <sup>2</sup>	
		$(6.6+18.0) \times 18.0 \times 1/2$	= 320.40 m <sup>2</sup>	
		控除(横断BOX打換え部) 下記横断BOX段差部(車道)面積より	= 400.00 m <sup>2</sup>	
		合計	= <b>4,496.90</b> m <sup>2</sup>	
		殻運搬・処分	$4496.9 \times 0.05$	= <b>224.85</b> m <sup>3</sup>
舗装打換え工 【歩道部】	舗装版切断	$4.3+2.5+2.0+2.0$	= <b>10.8</b> m	
	舗装版破碎	$54.0 \times 4.3$	= 232.20 m <sup>2</sup>	
		$367.0 \times 4.3$	= 1,578.10 m <sup>2</sup>	
		$220 \times 4.0$	= 880.00 m <sup>2</sup>	
		$300 \times 4.3$	= 1,290.00 m <sup>2</sup>	
		控除(乗り入れ部) 下記舗装乗り入れ部面積より	= 342.80 m <sup>2</sup>	
		控除(植栽部) $2.4 \times 1.4 \times 75$ 箇所	= 252.00 m <sup>2</sup>	
		合計	= <b>3,385.50</b> m <sup>2</sup>	
		殻運搬・処分	$3,385.5 \times 0.03$	= <b>101.57</b> m <sup>3</sup>
		不陸整正	破碎面積と同じ	<b>3,385.50</b> m <sup>2</sup>
	表層	破碎面積と同じ	= <b>3,385.50</b> m <sup>2</sup>	





# 数量集計表

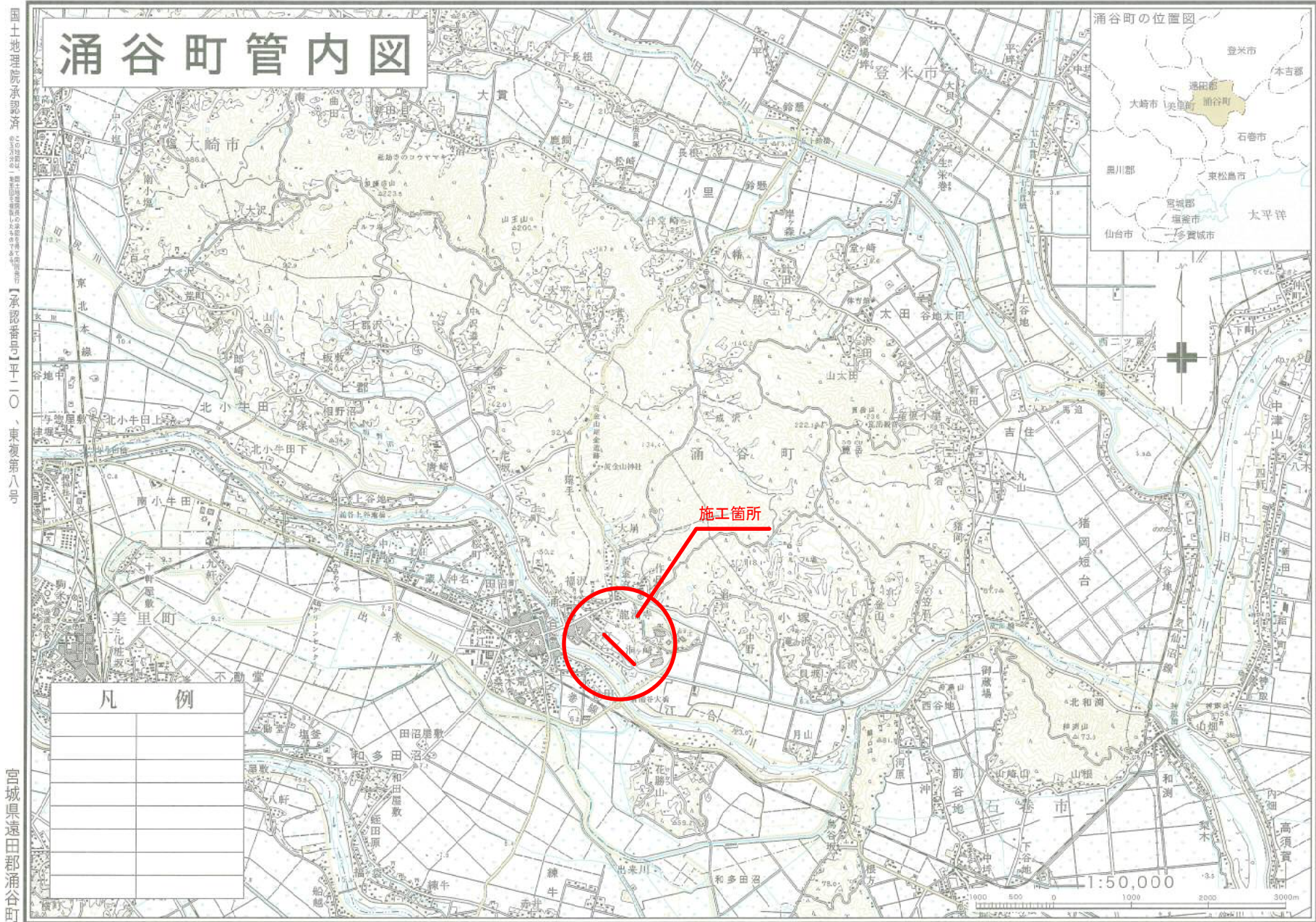
工種	種別	計算式	数量
舗装打換え工 【横断BOX段差部】	舗装版切断(車道)	$8.0+8.0$	= 16.0 m
	舗装版切断(歩道)	$4.3+4.3+4.0+4.0$	= 16.6 m
	舗装版破碎(車道)	$50.0 \times 8.0$	= 400.00 m <sup>2</sup>
	舗装版破碎(歩道)	$50 \times (4.3+4.0)$	= 415.00 m <sup>2</sup>
	殻運搬・処分	$400.0 \times 0.11 + 415 \times 0.03$	= 56.45 m <sup>3</sup>
	掘削(路盤)	車道部 $400.0 \times 0.37$	= 148.00 m <sup>3</sup>
		歩道部 $415.0 \times 0.1$	= 41.50 m <sup>3</sup>
		合計	= 189.50 m <sup>3</sup>
	路床改良	車道部 $50.0 \times (8.0+0.5+0.5)$	= 450.00 m <sup>2</sup>
		歩道部 $50.0 \times (4.3+4.0)$	= 415.00 m <sup>2</sup>
	控除(横断BOX) $(25.0 \times 3.5) + (26.0 \times 2.5)$	= 152.50 m <sup>2</sup>	
	合計	= 712.50 m <sup>2</sup>	
	地盤補強シート	$450.0+415.0$	= 865.00 m <sup>2</sup>
	下層路盤(歩道)	破碎面積と同じ	= 415.00 m <sup>2</sup>
	下層路盤(車道)	破碎面積と同じ	= 400.00 m <sup>2</sup>
	上層路盤(車道)	破碎面積と同じ	= 400.00 m <sup>2</sup>
	表層(歩道)	破碎面積と同じ	= 415.00 m <sup>2</sup>
	表層(車道)	破碎面積と同じ	= 400.00 m <sup>2</sup>
排水構造物工	L型側溝撤去再設置	BOX段差部 $50.0 \times 50.0$	= 100.0 m
	L型縁塊撤去再設置	$0.6 \times 10$ 箇所	= 6.0 m

## 数量集計表

工種	種別	計算式	数量
区画線工	外側線(実線)	$550 \times 2$ =	1,100.0 m
	中央線(実線)	交差点部 停止線から20m $20 \times 6$ 箇所 =	120.0 m
	中央線(破線)	$550 - 120 \times 1/2$ =	215.00 m
	横断歩道	横断歩道5箇所 $3.0 \times 55$ 本 =	165.00 m
	横断歩道予告	$16.5 \times 6$ =	99.00 m
	停止線	$4.0 \times 6$ 箇所 =	24.00 m
	とまれ標示	$18.64 \times 2$ 箇所 =	37.28 m



# 位置図(令和6年度(過疎債)新下町浦北線舗装補修工事)



国土地理院承認済  
【承認番号】平一〇、東復第八号

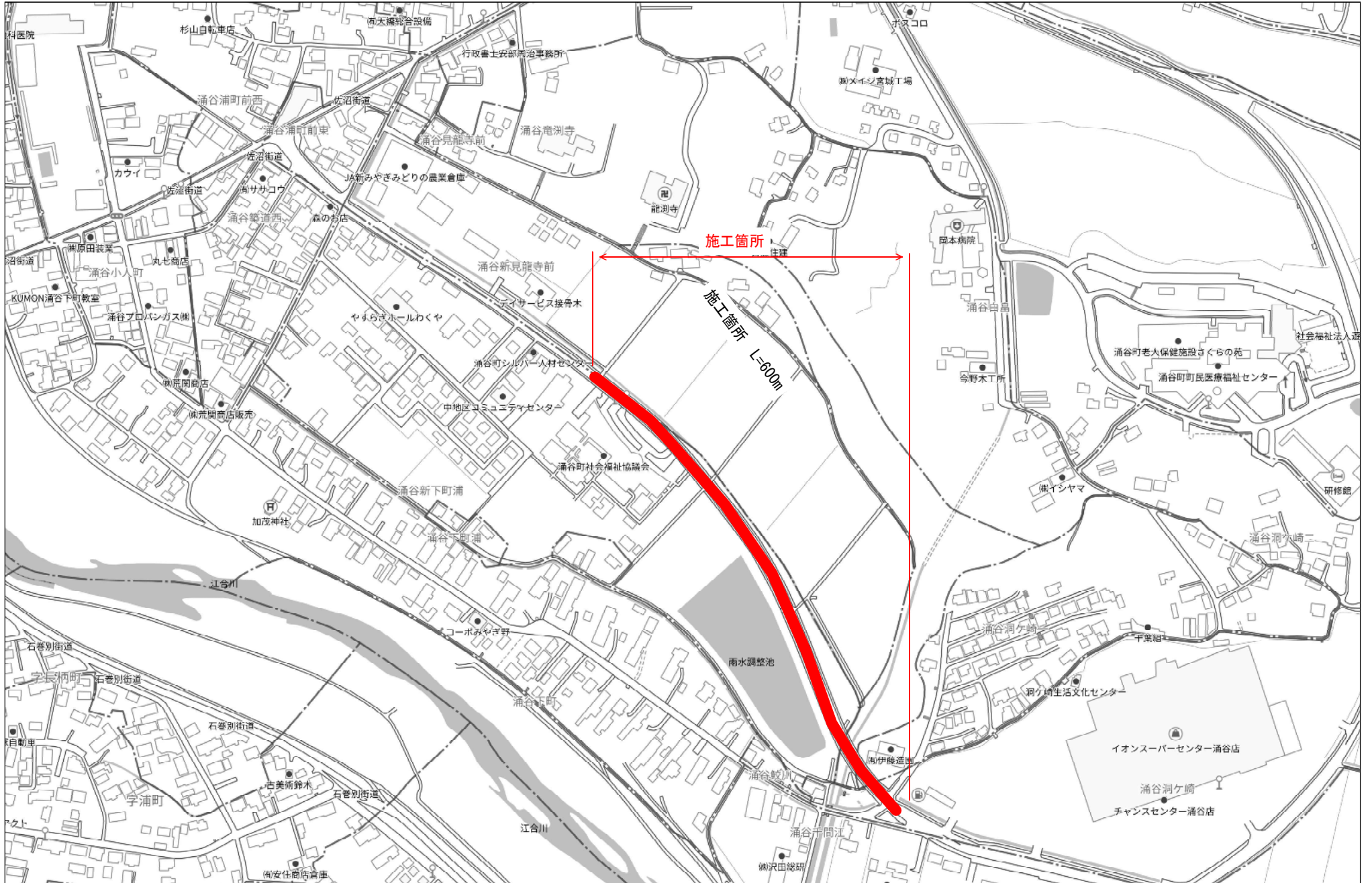
宮城県遠田郡涌谷町

平成20年4月

仙台市青葉区二日町13-30 株式会社 仙台地図の店  
番980-0802 ☎022(222)8467代



令和6年度（過疎債）新下町浦北線舗装補修工事 位置図



平面図



施工延長 L=550m

【切削・オーバーレイ工】

車道：路面切削 (t=50mm) A=4,500m<sup>2</sup>、表層 (再生密粒度As20F, t=50mm) A=4,500m<sup>2</sup>

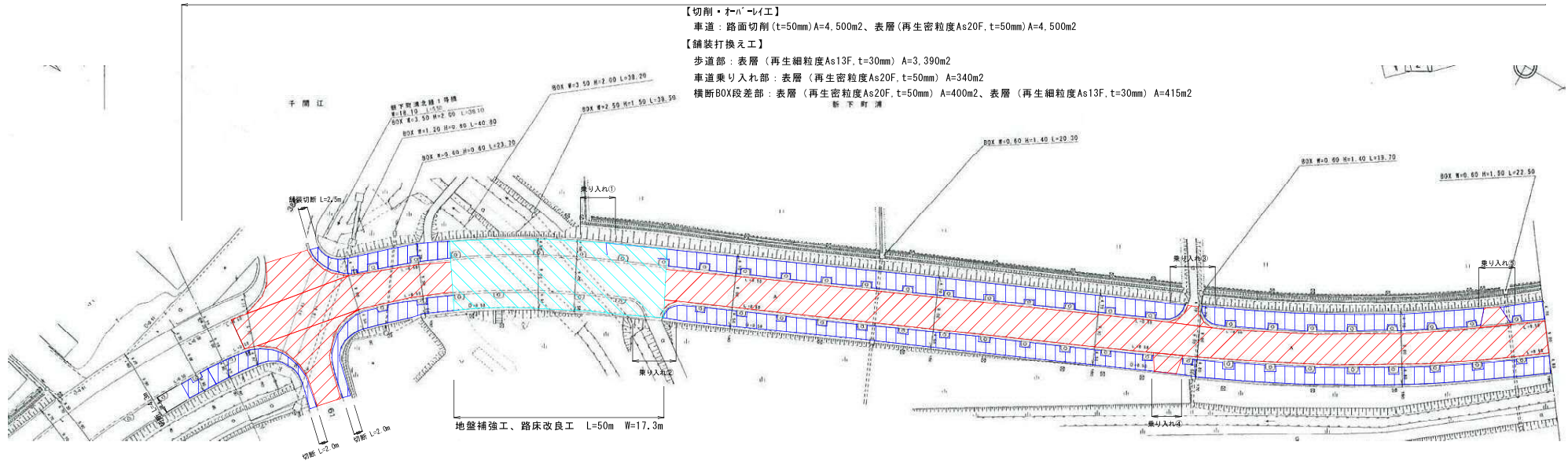
【舗装打換え工】

歩道部：表層 (再生細粒度As13F, t=30mm) A=3,390m<sup>2</sup>

車道乗り入れ部：表層 (再生密粒度As20F, t=50mm) A=340m<sup>2</sup>

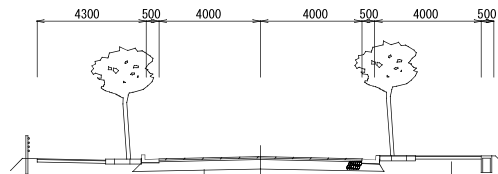
横断BOX段差部：表層 (再生密粒度As20F, t=50mm) A=400m<sup>2</sup>、表層 (再生細粒度As13F, t=30mm) A=415m<sup>2</sup>

新下町溝



地盤補強工、路床改良工 L=50m W=17.3m

標準横断面



【車道】

表層 (再生密粒度As20F) t=5cm

上層路盤 (再生As安定処理材) t=6cm

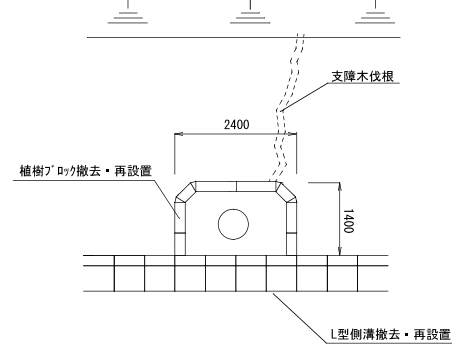
下層路盤 (RC-40) t=37cm

【歩道】

表層 (再生細粒度As13F) t=3cm

路盤 (RC-40) t=10cm

平面図 (歩道部)



路線名	新下町溝北線		
施工位置	湯谷字新下町溝 地内		
工事名	令和6年度 (湯谷橋) 新下町溝北線舗装補修工事		
図名	平面図・横断面		
縮尺	図示	全	業の内 業
	設計	製図	
湯 谷 町			

平面図



施工延長 L=550m

【切削・オーバーレイ工】

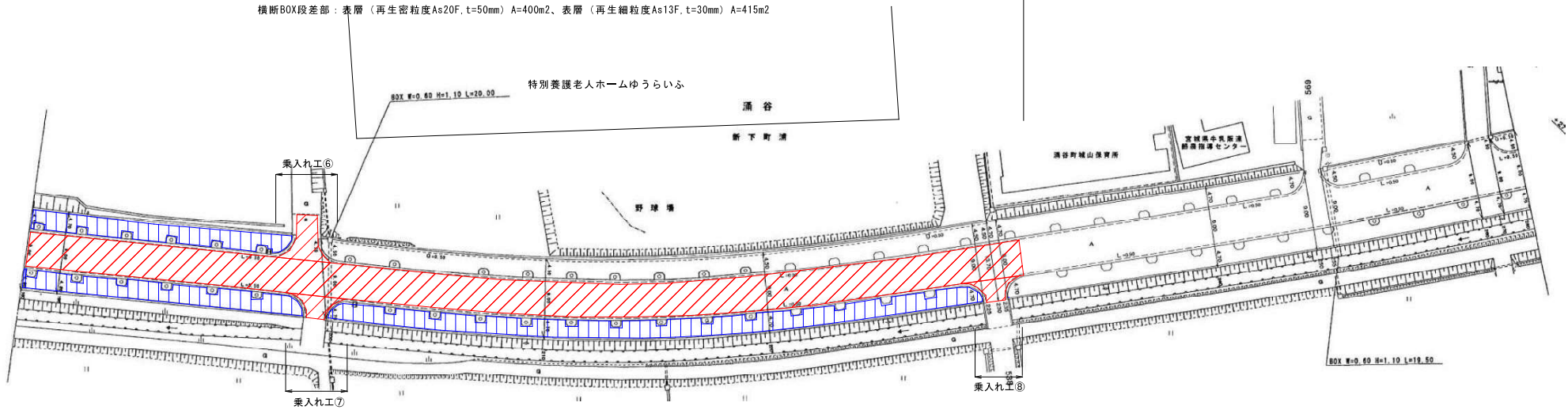
車道：路面切削 (t=50mm) A=4,500m<sup>2</sup>、表層 (再生密粒度As20F, t=50mm) A=4,500m<sup>2</sup>

【舗装打換え工】

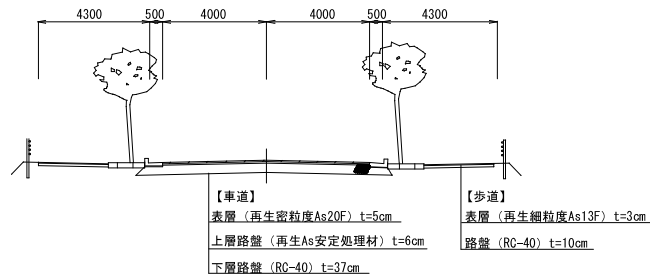
歩道部：表層 (再生細粒度As13F, t=30mm) A=3,390m<sup>2</sup>

車道乗り入れ部：表層 (再生密粒度As20F, t=50mm) A=340m<sup>2</sup>

横断BOX段差部：表層 (再生密粒度As20F, t=50mm) A=400m<sup>2</sup>、表層 (再生細粒度As13F, t=30mm) A=415m<sup>2</sup>

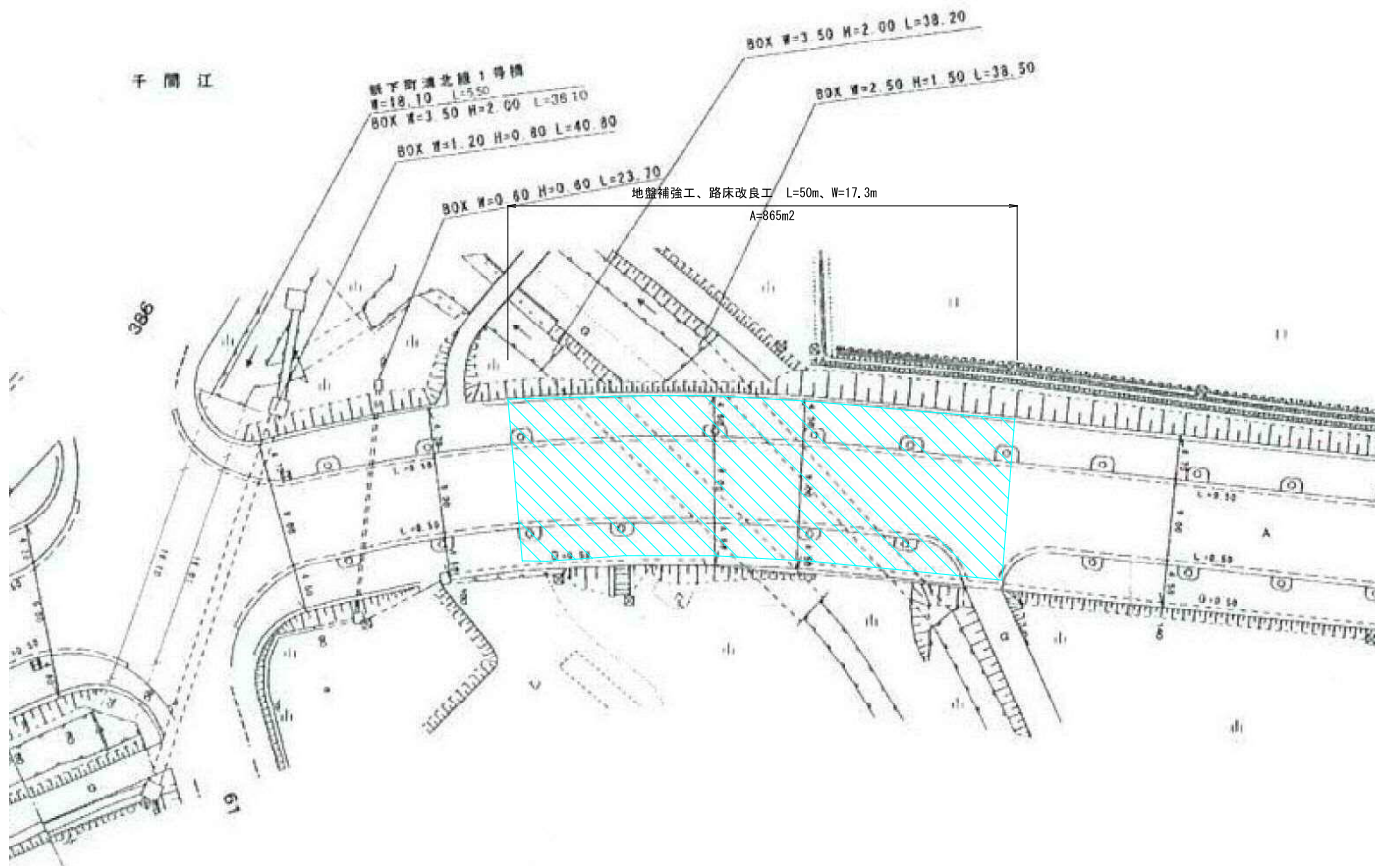


標準横断面

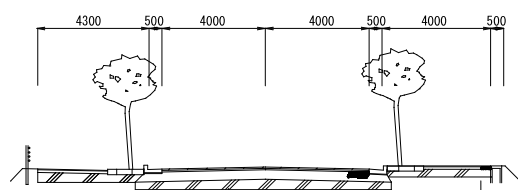


路線名	新下町溝北線			
施工位置	酒谷平新下町溝 地内			
工事名	令和6年度 (酒谷) 新下町溝北線舗装補修工事			
図名	平面図・横断面			
縮尺	図示	全	業の内	業
	設計	製図		
酒 谷 町				





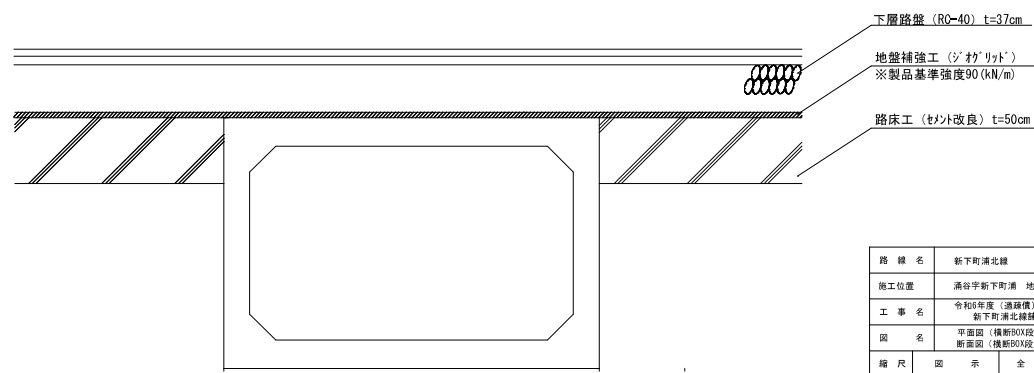
標準横断面



【車道】  
 表層 (再生密粒度As20F) t=5cm  
 上層路盤 (再生As安定処理材) t=6cm  
 下層路盤 (RC-40) t=37cm  
 路床工 (セメント改良) t=50cm

【歩道】  
 表層 (再生細粒度As13F) t=3cm  
 路盤 (RC-40) t=10cm  
 路床工 (セメント改良) t=50cm

横断BOX断面図



下層路盤 (RC-40) t=37cm  
 地盤補強工 (ジオグリッド)  
 ※製品基準強度90 (kN/m)  
 路床工 (セメント改良) t=50cm

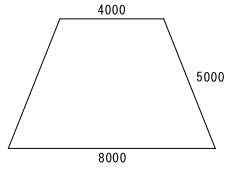
路線名	新下町浦北線		
施工位置	涌谷平新下町浦 地内		
工事名	令和5年度 (湧谷橋) 新下町浦北線舗装補修工事		
図名	平面図 (横断BOX段差部) 断面図 (横断BOX段差部)		
縮尺	図示	全	業の内業
	設計	製図	
涌 谷 町			



乗入れ工詳細図

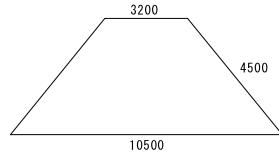
乗入れ工 ①

面積 :  $A = (4.0 + 8.0) \times 5.0 \times 1/2 = 30.0\text{m}^2$   
 舗装版切断 :  $L = 4.0 + 8.0 = 12.0\text{m}$



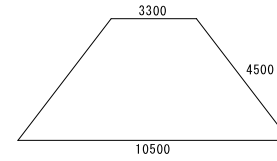
乗入れ工 ②

面積 :  $A = (3.2 + 10.5) \times 4.5 \times 1/2 = 30.8\text{m}^2$   
 舗装版切断 :  $L = 3.2 + 10.5 = 13.7\text{m}$



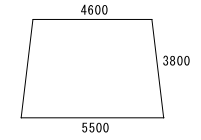
乗入れ工 ③

面積 :  $A = (3.3 + 10.5) \times 4.5 \times 1/2 = 31.0\text{m}^2$   
 舗装版切断 :  $L = 3.3 + 10.5 = 13.8\text{m}$



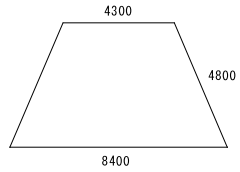
乗入れ工 ④

面積 :  $A = (4.6 + 5.5) \times 3.8 \times 1/2 = 19.2\text{m}^2$   
 舗装版切断 :  $L = 4.6 + 5.5 = 10.1\text{m}$



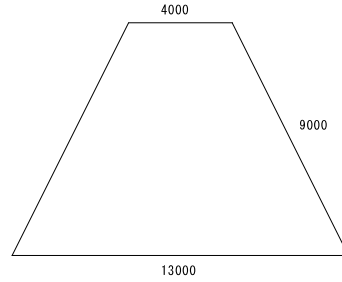
乗入れ工 ⑤

面積 :  $A = (4.3 + 8.4) \times 4.8 \times 1/2 = 30.5\text{m}^2$   
 舗装版切断 :  $L = 4.3 + 8.4 = 12.7\text{m}$



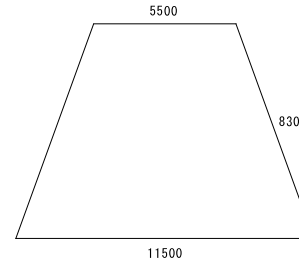
乗入れ工 ⑥

面積 :  $A = (4.0 + 13.0) \times 9.0 \times 1/2 = 76.5\text{m}^2$   
 舗装版切断 :  $L = 4.0 + 13.0 = 17.0\text{m}$



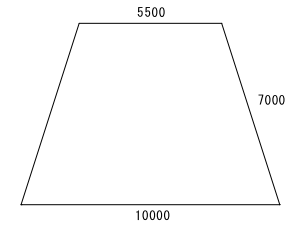
乗入れ工 ⑦

面積 :  $A = (5.5 + 11.5) \times 8.3 \times 1/2 = 70.55\text{m}^2$   
 舗装版切断 :  $L = 5.5 + 11.5 = 17.0\text{m}$



乗入れ工 ⑧

面積 :  $A = (5.5 + 10.0) \times 7.0 \times 1/2 = 54.25\text{m}^2$   
 舗装版切断 :  $L = 5.5 + 10.0 = 15.5\text{m}$



路線名	新下町浦北線			
施工位置	浜谷半新下町浦 地内			
工事名	令和6年度(通称債) 新下町浦北線舗装補修工事			
図名	乗入れ工詳細図			
縮尺	図示	全	業の内	業
	設計		製図	
浦 谷 町				